

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成23年3月3日 (2011.3.3)

【公開番号】特開2010-29191 (P2010-29191A)

【公開日】平成22年2月12日 (2010.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-006

【出願番号】特願2009-190172 (P2009-190172)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	21/04	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 0 7 K	16/00	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	21/04	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	7/06	
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/15	Z
C 1 2 N	5/00	B
C 1 2 N	1/21	

C 1 2 N	1/19	
C 1 2 P	21/02	C
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	19/00	
C 0 7 K	16/00	
C 0 7 K	16/18	
C 1 2 Q	1/68	A

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月17日(2011.1.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 図 2 (配列番号 2) に示すポリペプチドをコードするヌクレオチド配列に対して、少なくとも 80% の核酸配列同一性を有する単離された核酸。

【請求項 2】

図 1 (配列番号 1) に示すヌクレオチド配列に対して、少なくとも 80% の核酸配列同一性を有する単離された核酸。

【請求項 3】

図 1 (配列番号 1) に示すヌクレオチド配列の全長コード化配列に対して、少なくとも 80% の核酸配列同一性を有する単離された核酸。

【請求項 4】

請求項 1 の核酸を含んでなるベクター。

【請求項 5】

ベクターで形質転換された宿主細胞によって認識されるコントロール配列に作用可能に結合している請求項 4 のベクター。

【請求項 6】

請求項 4 のベクターを含んでなる宿主細胞。

【請求項 7】

前記細胞が CHO 細胞、大腸菌、又は酵母細胞である、請求項 6 の宿主細胞。

【請求項 8】

PRO ポリペプチドの発現に適した条件下で請求項 7 の宿主細胞を培養すること、及び細胞培養物から前記 PRO ポリペプチドを回収することを含んでなる、PRO ポリペプチドの製造方法。

【請求項 9】

図 2 (配列番号 2) に示すポリペプチドのアミノ酸配列に対して、少なくとも 80% のアミノ酸配列同一性を有する単離されたポリペプチド。

【請求項 10】

異種アミノ酸配列と融合した請求項 9 に記載のポリペプチドを含んでなるキメラ分子。

【請求項 11】

前記異種アミノ酸配列がエピトプタグ配列又はイムノグロブリンの Fc 領域である、請求項 10 のキメラ分子。

【請求項 12】

請求項 9 に記載のポリペプチドと特異的に結合する抗体。

【請求項 13】

前記抗体がモノクローナル抗体、ヒト化抗体又は一本鎖抗体である、請求項 12 の抗体

。

【請求項 14】

担体と組み合わせて、(a)請求項9のポリペプチド、(b)前記ポリペプチドのアゴニスト、(c)前記ポリペプチドのアンタゴニスト、或いは(d)前記ポリペプチドと結合する抗体を含んでなる組成物。

【請求項 15】

前記担体が製薬的に許容可能な担体である、請求項14の組成物。

【請求項 16】

(a)、(b)、(c)又は(d)の治療的有効量を含む、請求項14の組成物。

【請求項 17】

容器；

前記容器上のラベル；並びに

容器内に包含された、(a)請求項9のポリペプチド、(b)前記ポリペプチドのアゴニスト、(c)前記ポリペプチドのアンタゴニスト、或いは(d)前記ポリペプチドと結合する抗体を含む組成物を含む製造品であって、前記容器上のラベルによって前記組成物が免疫関連疾患の治療に用いることが可能であることが示される、製造品。

【請求項 18】

(a)請求項9のポリペプチド、(b)前記ポリペプチドのアゴニスト、(c)前記ポリペプチドのアンタゴニスト、或いは(d)前記ポリペプチドと結合する抗体の、治療的有効量を含んでなる、哺乳動物の免疫関連疾患を治療するための医薬。

【請求項 19】

免疫関連疾患が、全身性エリテマトーデス、X染色体連鎖の乳児性低ガンマグロブリン症、多糖体抗原無応答性、選択性IgA欠乏、選択性IgM欠乏、IgGサブクラスの選択性欠乏、高IgMを伴う免疫不全、一過性乳児期低ガンマグロブリン症、パーキットリンパ腫、中間リンパ腫、濾胞性リンパ腫、2型過敏症、リウマチ様関節炎、自己免疫性溶血性貧血、重症筋無力症、低副腎皮質、糸球体腎炎及び強直性脊椎炎である、請求項18の方法。

【請求項 20】

PROポリペプチドを含むと思われる試料中の前記ポリペプチドの存在を決定する方法であって、抗PRO71061抗体を曝露すること、及び前記試料の成分に対する前記抗体の結合を決定することを含んでなる方法。

【請求項 21】

哺乳動物の免疫関連疾患を診断するためのキットであって、(a)哺乳動物から採取した組織細胞の試験試料中、及び(b)同じ細胞型の既知の正常組織細胞である対照試料中における、PRO71061ポリペプチドをコードする遺伝子の発現レベルを検出するための手段を含んでなり、対照試料と比較して試験試料中における前記遺伝子の発現レベルが高い又は低いことにより、試験組織細胞が得られた哺乳動物における免疫関連疾患の存在が示されるキット。

【請求項 22】

哺乳動物の免疫関連疾患を診断するためのキットであって、(a)前記哺乳動物から採取した組織細胞の試験試料と抗PRO71061抗体を接触させるための手段、及び(b)抗体と試験試料中のポリペプチドの間の複合体の形成を検出するための手段を含み、前記複合体の形成により、試験組織細胞が得られた哺乳動物における免疫関連疾患の存在が示されるキット。

【請求項 23】

PRO71061ポリペプチドの活性を阻害する化合物を同定する方法であって、通常は前記ポリペプチドへ応答する細胞を(a)前記ポリペプチド、及び(b)候補化合物と接触させ、前記細胞の(a)に対する応答性の欠乏を測定することを含んでなる方法。

【請求項 24】

PRO71061ポリペプチドをコードする遺伝子の発現を阻害する化合物を同定する

方法であって、通常は前記ポリペプチドを発現する細胞を候補化合物と接触させ、前記遺伝子の発現の欠乏を測定する方法。

【請求項 25】

前記候補化合物がアンチセンス核酸である、請求項 24 の方法。

【請求項 26】

P R O 7 1 0 6 1 ポリペプチドの活性を模倣する化合物を同定する方法であって、通常は前記ポリペプチドへ応答する細胞を候補化合物と接触させ、前記細胞による前記候補化合物への応答性を測定することを含んでなる方法。

【請求項 27】

哺乳動物の免疫応答を刺激する方法であって、前記哺乳動物に対し、P R O 7 1 0 6 1 ポリペプチドアンタゴニストの有効量を投与することを含み、前記免疫応答が刺激される方法。

【請求項 28】

哺乳動物の B 細胞媒介免疫応答を診断するためのキットであって、(a) 哺乳動物から採取された組織細胞の試験試料中、及び (b) 同じ細胞型の既知の正常組織細胞である対照試料中における、P R O 7 1 0 6 1 ポリペプチドをコードする遺伝子の発現レベルを検出するための手段を含み、対照試料と比較して試験試料中における前記遺伝子の発現レベルが高い又は低いことにより、試験組織細胞が得られた哺乳動物における炎症性免疫応答の存在が示されるキット。

【請求項 29】

哺乳動物の B 細胞媒介疾患を診断するためのキットであって、(a) 哺乳動物から採取された組織細胞の試験試料中、及び (b) 同じ細胞型の既知の正常組織細胞である対照試料中における、P R O 7 1 0 6 1 ポリペプチドをコードする遺伝子の発現レベルを検出するための手段を含み、対照試料と比較して試験試料中における前記遺伝子の発現レベルが高い又は低いことにより、試験組織細胞が得られた哺乳動物における炎症性免疫応答の存在が示されるキット。